

地盤工学会関東支部
液状化に係わる被害のメカニズムと名称を考える委員会
2019年度 第3回委員会 議事録

【開催日時, 場所, 出席】

日時	2020年01月29日(水) 14:30~17:00				場所	JGS会館3階会議室		
委員長	吉田 望	○	幹事	石川 敬祐	○	幹事	平松 登史樹	○
顧問	石原 研而	×		沢津橋 雅裕	○		菊本 統	×
	加藤 一紀	○		安達 夏紀	○		原田 健二	○
	石川 明	○		清田 隆	×		飛田 善雄	×
	笹岡 里衣	○		三上 武子	○		澤田 純男	×
	大矢 陽介	○		安田 進	○		加藤 謙吾	○

【配布資料】

資料 2019-3-1 : 2019年度第3回委員会 議事次第

資料 2019-3-2 : 2019年度第2回委員会 議事録

資料 2019-3-3 : 【話題提供_01】石川明委員

資料 2019-3-4 : 【話題提供_02】笹岡委員

資料 2019-3-5 : 次年度活動計画

【議事内容】

1. 前回議事録の確認

前回の議事録が承認された。

2. 話題提供に関する主だった質疑・説明

<石川明委員>

○噴砂が発生したタイミング：動画では確認できなかったが、加振直後であった。

→実現象のような吹き上がり方をしたわけではなく、噴砂と呼称するか疑問が残る。

○液状化によって変化する透水係数を解析でシミュレーションする方法はないか。

○スライド 10 縦軸：傾斜が進行している時間

<笹岡委員>

○粒度が異なる試料の密度設定：試験施工をしてみても求める方法もある。

○スライド 13 碎石の変位量：非接触型の変位計が細かい礫に反射したため。

○スライド 25 ストレスパス：三軸試験なので傾き自体がおかしいわけではない。

3. 今後の活動について

吉田委員長より ISO23469 に関する情報共有と今後の作業に関する説明があった。

☆次回までの課題

配布資料に記載されている用語以外で、今後の議論にて取り上げるべき用語を一人 1~2 個程度
収集する。

整理担当：平松

4. その他

・委員会資料の共有サイト

<https://mypocket.ntt.com/mypocket/login/>

ID: JGS_Liquefaction Pass: 2019ekijouka

5. 次回開催日の決定

2020年4月21日（火）14：30～17：00 JGS 会館 3 階会議室

話題提供：加藤謙吾委員，加藤一紀委員 + 沢津橋委員